

4. 南関東（地域別調査機関：（株）日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明	
家計 動向 関連  (南関東)	良く なっている	一般小売店〔家電〕（経理担当）	来客数の動き	・消費税増税前の駆け込み需要で来店客、販売量共に増えている。特に、冷蔵庫、洗濯機、エアコンが売れている。	
		一般小売店〔文具〕（販売企画担当）	お客様の様子	・小規模の会社は消費税増税前に買い込んでおこうというような傾向があり、印刷物、ファイルのまとめ買いがあった。コピー機だけでも8台決まっており、印刷機も合わせると10数台になる。工事等もすべて今月末に集中しているので、やはり相当良い状況である。	
		百貨店（総務担当）	単価の動き	・消費税増税前ということもあり、時計、宝飾、重衣料の売上が好調に推移している。また、靴など身の回り品のまとめ買いの動きも目立っている。	
		百貨店（営業担当）	来客数の動き	・消費税増税前の駆け込み需要の影響で高額品、消耗品が大幅に売上を伸ばし、それに引きづられて一般商品も高い伸びで推移している。	
		百貨店（営業企画担当）	それ以外	・消費税増税前の駆け込み需要が鮮明である。宝飾品、特選等の高額品や住宅需要の高まりでリビング用品は好調が続いていたが、駆け込み需要で更に高い伸び率を示している。加えて、化粧品などの消費材も駆け込み需要が高まっている。	
		百貨店（計画管理担当）	販売量の動き	・消費税増税前の駆け込み需要により、景気がにわかには好転しているようである。	
		スーパー（営業担当）	単価の動き	・今月は消費税増税前の駆け込み需要が顕著に現れている。来月以降どうなるかという問題があるが、今月に関しては絶対好調間違いなし。	
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・消費税増税前の景気で3月は推移している。4月以降は消費税増税の影響でマイナス面に動くのではないかと考えている。	
		コンビニ（経営者）	単価の動き	・客単価が前年より20円以上上がり、消費税増税前の駆け込み需要が多く、売上は前年比112%で推移している。	
		衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・消費税増税前の駆け込み需要で来客数が非常に伸びたことが好調の要因である。	
		家電量販店（統括）	来客数の動き	・消費税増税前の駆け込み特需である。流通やマスコミにあおられて消費者の購買意欲が高騰している。追加の経済政策での需要増であれば、中長期的な政策効果として好感できるが、新年度の第1四半期は反動減が大きい。	
		家電量販店（経営企画担当）	販売量の動き	・消費税増税前の駆け込み需要の最盛期となっている。来客数、客単価共に大きく伸長している。1人当たりの買上点数も前月同様高水準で推移している。高機能の耐久消費財に加え、アクセサリ、消耗品のニーズまで広がりが出ている。	
		乗用車販売店（総務担当）	販売量の動き	・消費税増税前の駆け込み需要により、販売量が増えている。	
		旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・国内団体旅行の予約が急増している。また、見積依頼も増えてきている。	
		通信会社（管理担当）	それ以外	・人材確保をするにあたり、これまでの労働条件では応募者数が減ってきており、産業界全体が上向いていると感じられる。	
		その他サービス〔福祉輸送〕（経営者）	販売量の動き	・消費税増税前の駆け込み需要でたくさんの受注が入り、3月以内に登録するという事で売上が相当増えている。しかし、月の半ばから徐々に受注がなくなってきており、4月以降、駆け込み需要の反動での受注減が非常に心配である。繰り越した受注もある程度あるので、それなりの売上はあると思うが、通年に比べての受注量が少ない。	
		やや良く なっている	商店街（代表者）	販売量の動き	・消費税増税を前に、世間全体が買いためや前倒し購入で景気が良いように思える。
			一般小売店〔家電〕（経営者）	販売量の動き	・土壇場になって消費税増税前の駆け込み需要が確かにあり、今までより若干売上が増加している。
			一般小売店〔和菓子〕（経営者）	単価の動き	・前半は寒い日が続く客足が鈍かったが、後半、彼岸の3連休から進物の販売量が増え、また、駆け込み需要が月末にきて多少あるため、客単価が上がって売上に繋がっている。

一般小売店〔文房具〕（経営者）	販売量の動き	・消費税増税前の駆け込み需要等で今月は良くなるのではないかと思っただが、全然変わらない。3月なので2月よりは時期的に良くなっているが、これと比べて良い方向に推移しているとは思わない。
一般小売店〔家具〕（経営者）	来客数の動き	・3月初めは来客数が少なかったが、半ば過ぎから消費税増税の影響もあるからか多くなり、販売も順調に推移している。
一般小売店〔家電〕（経営者）	販売量の動き	・先行きがどうなるか期待できないが、今のところ消費税増税前の駆け込み需要でやや良くなっている。
一般小売店〔茶〕（営業担当）	販売量の動き	・来客数、売上共に伸びている。
百貨店（広報担当）	お客様の様子	・数か月前から景気の高揚感と消費税増税対策で客の購買活動が活性化している。特に、直近に増税が迫っているため、今月は駆け込み需要が顕著となっている。また、政府の掛け声もあって大手企業を中心に給与のベースアップ情報が流れ、世の中に明るい兆しがあることから高額品も好調となり、好景気を生み出している。
百貨店（営業担当）	単価の動き	・現時点では単価の高い婦人服が好調であり、総売上も伸びているが、やはり駆け込み需要が大きい。今後、伸びるかは不透明である。
百貨店（営業担当）	販売量の動き	・最近では婦人服関連の動きが悪かったが、インポートの服飾雑貨及び婦人衣料品が2けた以上の伸びを示している。また、紳士服も前年比16ポイント改善し、ベーシックな白シャツやインナーなど流行に左右されず長く着用できる上質な商品の動きが良い。食料品は賞味期限もあるので急激な変化はないが、売上については堅調に推移している。
百貨店（営業担当）	単価の動き	・消費税増税前の駆け込み以外、確実に逸品やぜいたく品の購買が増えてきている。
百貨店（販売促進担当）	お客様の様子	・消費税増税前で宝飾品を中心とした高額品の動き、化粧品などの必需品のまとめ買い等が顕著に表われ、全体の売上を押し上げた。来店客の買上率が上がっている。
百貨店（営業企画担当）	販売量の動き	・消費税増税前の駆け込み需要もあり、各部門とも好調に推移している。
百貨店（販売管理担当）	お客様の様子	・消費税増税に伴う駆け込み需要がピークに差しかかり、今まで目立った動きをみせていた宝飾品、時計に加え、化粧品、肌着、ビジネス用品、寝具などに目を向ける客の増加が顕著である。
百貨店（副店長）	販売量の動き	・消費税増税の影響で3月は想像以上に大きく売上を伸ばしている。4月以降のマイナスも限定的ではないか。消費意欲がおう盛なので、増税とともに一気に縮小するとは考えられない。
スーパー（販売担当）	販売量の動き	・4月から消費税増税ということで、ここ10日前後で客の買上数量が徐々に増えてきている。特に、日持ちのする商品を通常1個買うところを2個、3個という買い方をしており、販売量は確実に増えている。
スーパー（経営者）	単価の動き	・来客数は減少しているものの、1点単価と客単価が上がっているため、売上が増加している。消費税増税前の対策で買上が増えている。
スーパー（店長）	単価の動き	・競合店がオープンしてから今月で1年たつため、全体的に数字が押し上がってきていることと、消費税増税前で箱売りやある程度単価の高い物が売れている。3か月前と比べると景気はやや良い。
スーパー（店長）	販売量の動き	・3か月前に比べると売上額が増えており、消費税増税前の駆け込み需要の影響だと思われる。ただし、即景気が良いという判断はできない状況である。
スーパー（総務担当）	お客様の様子	・このところずっと前年割れの状況だったのが今月は消費税増税前ということで、お米などの日持ちのする物、頻度品や生活必需品の売上が大幅に増加している。ただし、給料が上がって消費に回せるお金があるからというよりは、消費税増税前ということで増えているように思う。
コンビニ（経営者）	販売量の動き	・消費税増税を控え、買いだめの傾向が若干みられる。
コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・たばこの駆け込み需要が出てきている。

衣料品専門店 (営業担当)	販売量の動き	・気温も暖かくなり、春物ジャケット、コートをはじめ、どのアイテムも動きが良い。消費税増税前ということもあるが、昨年の達成率が前年比108%に対し、今月はそれを上回る103%である。しかし、メーカーでの春物の作り込みが少ないため、追加がきかず、4月の商品確保が課題である。
乗用車販売店 (経営者)	販売量の動き	・消費税増税前の駆け込み需要で客が増え、新車の販売台数が前年よりもかなり増えてきている。しかし、メーカーの増産が大雪の影響で間に合わず、新車の納期が大幅に遅れてしまっている。
乗用車販売店 (販売担当)	販売量の動き	・明らかに消費税増税の影響がある。今月は前年同月比、全国ベースで約145%伸びており、当社も160%近くと需要が増えている。特にトラックは新年度に対するの予算の消費などが始まるため、年度内に納入する必要があり、受注と需要が大きく伸びている。
住関連専門店 (営業担当)	販売量の動き	・販売は好調であるが、消費税増税前の一時的な動きと判断している。
一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・売上が一番落ち込む時期の3か月前と比べると今月はかなり良い。3月は人の動きが激しくなり、ケータリングやパーティーなどあるので、やや良くなっている。
一般レストラン (経営者)	販売量の動き	・最近、料理や飲物の販売単価が上がっている。また、予約よりもフリーの客が増えている。
一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・2月よりもフリーの来店客が大分増えてきている。早い時間からも入店しており、夜は遅くまではないがピーク時は満席になるような状況である。
都市型ホテル (スタッフ)	販売量の動き	・レストランでは、土日、祝日に入浴、卒業祝い等の家族の食事や、平日の夜に友人との食事での来店が増えている。また、少人数での接待利用もコンスタントに予約が入ってきている。宿泊は近隣でのイベント開催時の利用は相変わらず満室になるし、今月も大型イベントが続き、稼働率が高い。宴会も少人数の送別会や会議後の懇親会の問い合わせが間際になって入り、伸びている。
旅行代理店(経営者)	販売量の動き	・今月は天候不順もあったので、前半はあまり良くなかったが、消費税増税前ということもあり、駆け込み需要が影響して販売量は増えている。
旅行代理店(従業員)	販売量の動き	・天候の悪さによって手控えがある。また、消費税増税によって控えている面があるものの、それを押しつけるぐらいの受注量が前年と比べて100%超えている。
タクシー運転手	お客様の様子	・今月は予想以上に客が多い。また、百貨店に行くとレジが大分混んでおり、このような光景を初めて見た感じがする。タクシーにおいても若干潤っている。
タクシー運転手	お客様の様子	・4月の消費税増税を前に日用品の買いだめ等で多少経済に好影響が出ているようである。3月は年度末ということで人の動きがあり、タクシーを利用する客も普段の月より増えている。今月は中長距離のチケット客も多い。
タクシー運転手	お客様の様子	・消費税増税前の月で思っていたより利用者が多く、昼間の客の動きが良い。特に、仕事関係の利用が多い。夜も地区外の客があり、少しずつ飲み会も始まっているようで良いペースで仕事ができている。
タクシー運転手	お客様の様子	・景気が良くなっているという客が圧倒的に多い状況だが、残念ながら賃金には今一つ反映されていないようである。
タクシー(団体役員)	お客様の様子	・12月と3月の比較のため判断が難しいが、それぞれの前年同月の数字と比較するとやや良くなっている。
通信会社(経営者)	販売量の動き	・テレビ、インターネット、固定電話、携帯電話共に3月の契約獲得は好調である。特に、携帯電話は季節要因もあり、大幅に上ぶれしており、割引サービスを利用して他のサービス獲得をけん引している。
通信会社(経営者)	お客様の様子	・既存顧客の高額サービスへの移行がみられる。
通信会社(営業担当)	販売量の動き	・3月から新しく投入された商品が順調で、全体の加入契約数を押し上げている。
通信会社(局長)	販売量の動き	・通常のラインナップに加え、オプションサービスの申込が顕著となってきた。景気回復の兆しがみえてきている。
ゴルフ場(支配人)	来客数の動き	・3月後半より定員を超えた予約の日が増してきた。

	ゴルフ場（支配人）	お客様の様子	・来客の言動にやや明るさが戻ってきているように感じる。季節的な要因も影響している。
	美容室（経営者）	お客様の様子	・消費税増税前の駆け込みでいろいろと買物をしているようである。
	設計事務所（経営者）	お客様の様子	・仕事量は多くないが、来期に向けた話が出てきている。
	住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・当社は住宅を主に扱う不動産開発業と総合建設業だが、住宅に関しては消費税増税前の駆け込み需要は多く発生しておらず、特に景気が良くなっているとは感じない。一方、総合建設業は、公共工事の発注量は非常に増えているものの工事原価が上昇しているため受注額が低く、赤字になってしまい、入札においても不調になってしまうことが多く発生している。
	住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・今月は販売量が目標を少し下回ったが、3か月前と比べるとやや増えているので景気はやや良くなっている。建築請負業では、消費税増税前の駆け込み受注は一息ついているが、慌てていない客が底堅く動いている。
	住宅販売会社（従業員）	単価の動き	・下請の確保が困難となっており、かつ発注単価も上昇している。
変わらない	商店街（代表者）	お客様の様子	・今月前半は入店客が非常に少なかったが、消費税増税前だから中旬以降、小額の物ではあるが買物する客が増えてきている。また、それに伴って売上も前半と比べて後半は少し回復してきている。
	商店街（代表者）	来客数の動き	・最近の天候と消費税8%の影響から多少の動きはあるが、売上が若干増える程度で、あまり大きな変化はない。
	商店街（代表者）	単価の動き	・総体的に1割ぐらい伸びている。行事が多い時期のため、ケーキなどいろいろなものも値段的に多少動いている。他の業種に関してはさほど伸びていないというようなことを皆言っている。
	商店街（代表者）	それ以外	・1、2月は天候不良にもかかわらずクレジットカードの取扱高が前年同月を大きく上回っており、とても好調に推移したのでその流れを今月も受け継いでいる。消費税増税前の駆け込み需要は当地域においてはあまり感じない。
	一般小売店〔家電〕（経理担当）	販売量の動き	・消費税増税前の需要と思われるが、白物家電、特にエアコンの動きが良い。商品を確保するのが大変な状況である。
	一般小売店〔印章〕（経営者）	来客数の動き	・来客数が減って客単価も非常に下がっている。扱っている物が印鑑のため、ないと困る物ではあるが、客は非常に少ない。
	一般小売店〔祭用品〕（経営者）	単価の動き	・思ったほど消費税増税前の駆け込み需要、年度末消費がない。
	一般小売店〔米穀〕（経営者）	販売量の動き	・天候が不安定な影響や消費税増税前の情勢など、様々な状況があり、良い方には向いていないような気がする。
	一般小売店〔靴・履物〕（店長）	お客様の様子	・当店も他店も売上が変わらないか多少伸びているが、明らかに消費税増税前の駆け込みである。これは景気とは関係ないと判断すると、変わらない。
	百貨店（総務担当）	販売量の動き	・消費税増税前で売れているものと売れないものが顕著に出ており、前年の売上は超えているが、予想の範囲内で前倒しで売れていることがあり、来月以降はその反動が予想され、景気が良いとは言えない。
	スーパー（店長）	お客様の様子	・来客数、買上点数共に前年並みを維持してはいるが、単価の上昇がみられない。買物の中心が目玉品等の低価格商品に集中している。
	スーパー（仕入担当）	販売量の動き	・今月は消費税増税前の駆け込み需要で、酒、たばこ、米、調味料、雑貨等、単価が高くある程度保存がきく商品の動きが良い。
	スーパー（仕入担当）	お客様の様子	・3月前半は気温が上がらず、春夏商材の動きが良くなかったが、後半に入り消費税増税前の駆け込み需要も含めて、来客数と売上が伸びてきている。
	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・今月は消費税増税前の駆け込み需要があり、たばこ等の販売が前年比110～120%まで上がった。この反動が心配である。
コンビニ（経営者）	お客様の様子	・消費税増税前で大型店に客が流れており、コンビニの客単価は大幅に減少し、売上が減少している。	

コンビニ（経営者）	来客数の動き	・毎年、この時期になると暖かくなってきて客が多く来店するようになるが、今年に限ってはそのようなことはあまりない。また、消費税増税を控えており、売れ筋もたばこや買い置きのできる物に集中している関係で、日配品の動きが悪いように感じる。
コンビニ（経営者）	来客数の動き	・春とともにやや良くなるだろうと思っていたが、天候の変動が大きいので、あまり好転していない。
コンビニ（経営者）	販売量の動き	・販売量が減っている。
コンビニ（店長）	来客数の動き	・コンビニの場合、消費税増税前の客の動きは変わらない。
コンビニ（商品開発担当）	来客数の動き	・来客数は厳しい状況が続いているものの、下げ止まり感が出てきている。
衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・今月も大きく数字が伸びず前年を下回り、駆け込み需要もなく先月と同じような流れである。肌寒い天候のため、春物の動きが鈍い。
衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・寒暖の差が激しい前半は来客数が少なく、後半暖かくなってからようやく売上も伸びてきて、やっと前年売上をクリアできた状態である。末端まで景気の循環は来ていない。
衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・3月中旬より駆け込み需要で実用衣料品の売上が大きく伸びている。しかし、おしゃれ物の動きは悪い。
家電量販店（店員）	単価の動き	・景気に対する動きがみえてこない。
住関連専門店（統括）	販売量の動き	・来客数はある程度あるが、販売になかなか結び付かない。
その他専門店 [ドラッグストア]（経営者）	販売量の動き	・消費税増税前の駆け込み需要で、品薄になっている商品も出てきている。
その他小売 [ショッピングセンター]（統括）	販売量の動き	・マスコミの報道も影響しているせいか、消費税増税前の駆け込み需要で売上推移が好調である。
その他小売 [生鮮魚介卸売]（営業）	お客様の様子	・消費税増税前だが、生鮮食料品は買いためできないので売れない。
高級レストラン（支配人）	来客数の動き	・消費税増税前で多少消費の動きは活発だが、前年との売上比較ではやや上回る程度で、大きな変化はみられない。
一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・外食に関しては消費税増税前の駆け込み需要は感じられない。当店は周辺より少し単価が高いせいか固定客が多く、来客数も特に変わらない。
一般レストラン（スタッフ）	お客様の様子	・消費税はまだ上がっていないのでさほど悪くなっていないが、4月からは増税に付随して様々なものが順番で上がってくるので悪くなる。
旅行代理店（支店長）	お客様の様子	・年度末ではあったが、3か月前の販売と比べて客の様子も何ら変わりはない。消費税増税前の駆け込み需要は当店にはなかったもので、例年の3月と同じである。ただし、個人の旅行についてはお金が回ってこないような気がしている。
タクシー運転手	お客様の様子	・客の会社は忙しそうだが、タクシーを利用する機会はなるべく増やさず、使える状況ではないとのことである。
通信会社（社員）	来客数の動き	・消費税増税前の駆け込み需要のためか、今月の契約数は前年より高く設定した目標を達成している。
通信会社（営業担当）	お客様の様子	・新サービスを開始したことで契約件数は増加しているが、消費税増税前の駆け込み購入は一服感がある。
通信会社（営業担当）	単価の動き	・以前は割安なサービスが売れ筋であったが、ここ数か月は付加価値のあるサービスに移っている。
通信会社（局長）	お客様の様子	・この時期は不動産繁忙期で転居後加入による世帯数増加はあるが、不動産管理会社からのヒアリングでは更新の年となっていることもあり、昨年ほど転居者は多くないとのことである。客の様子も景気が良くなっていることでの購買意欲は感じられず、まだ未知数である。
通信会社（営業担当）	お客様の様子	・特に変化は感じられない。相変わらず契約内容の無駄を省く方向での申込みも多い。
通信会社（総務担当）	単価の動き	・消費税増税による駆け込み需要を除けば、総体的に変化はない。
通信会社（経営企画担当）	お客様の様子	・商談状況に変化はない。

	ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・来場者の動きは天候、当社のキャンペーン等の効果で左右され、景気回復を感じるものではない。
	その他サービス 〔保険代理店〕 （経営者）	販売量の動き	・前年比では横ばいかやや減少であり、3か月前と比較しても横ばいで推移している。消費税増税の駆け込み需要は当業界には関係ない。
	設計事務所（職員）	それ以外	・会社の受注実績は順調であるが、景気が上向いているとは感じられない。
	住宅販売会社 （従業員）	販売量の動き	・消費税増税の影響で工事が間に合わないほどの状況だが、受注は前年を20%ほど下回っている。受注残が減りつつあるので、4月以降は売上が徐々に減っていく。
	住宅販売会社 （従業員）	競争相手の様子	・現在、新築販売のアパートは順調に契約になっているが戸建て販売が伸び悩んでいる。同業者も在庫を抱えているとの情報が入っている。投資家の動きは活発だが、一般の客はまだ読めない。
	その他住宅〔住宅資材〕（営業）	販売量の動き	・消費税増税前の最後の駆け込みで、注文が増えている。
やや悪くなっている	商店街（代表者）	販売量の動き	・掛け声は上向いているが、現実感が薄い。消費税増税前の駆け込み需要が少ない。
	一般小売店 〔茶〕（営業担当）	お客様の様子	・今月に入り、消費税増税前に煎茶等の商品を大量に購入する企業も増えてきた。賞味期限のない商品はコストダウンにつながるのでは良いと思うが、販売元の厳しい状況は増していくばかりである。消費税が上がった分、より安いお茶を求める客が増えていくことが懸念される。
	衣料品専門店 （経営者）	お客様の様子	・当店では消費税増税前の駆け込み需要の客は見受けられず、冷静に今必要なものだけを買っていき、決して景気が良いとは思えない。
	乗用車販売店 （経営者）	販売量の動き	・自動車の整備は順調に入っているが、販売は駆け込み需要が先月で終わったようで今月はあまり良くない。
	乗用車販売店 （営業担当）	来客数の動き	・月後半から購入を検討する客の来店が激減している。
	その他小売 〔ゲーム〕（開発戦略担当）	販売量の動き	・国内は前年比70%強、前々年と比べても90%程度で盛り上がらない春休み商戦である。海外も大きな動きがあるという話は聞かない。
	一般レストラン （経営者）	販売量の動き	・前年比でみて、3か月前の12月は1～25日までの売上が108.8%、来客数106.4%という結果だった。今月は1～25日までの売上が101.0%、来客数96.6%という結果である。
	タクシー（経営者）	来客数の動き	・前年同月比で営業回数が減っている上に、1営業の単価も減少傾向である。
	パチンコ店（経営者）	来客数の動き	・夜の乗客のピークは8時から8時半ぐらいだが、その時間の来客数が少し減っている。
	設計事務所（経営者）	それ以外	・年度末までに行政の仕事を完了しなければならないが、なかなか終わらず、工期が4月に延長された。納品時期がずれ込み、新しい仕事に着手できず困っている。
	設計事務所（所長）	お客様の様子	・民間の仕事については、例年、年が明けると相談があるはずが今年はその動きすらない。来年度の公共案件はないが、来年度の入札が始まり、目標を超える仕事を確保することができた。年度内の仕事はこれで終わりである。
	設計事務所（所長）	競争相手の様子	・景気が良くなっているのは大手や輸出関連の会社ばかりである。末端まで景気が良くなったとは到底感じることができない。業者が増え、仕事量はそれほど増えていない。
	悪くなっている	一般小売店〔食料雑貨〕（経営者）	販売量の動き
乗用車販売店 （経営者）		来客数の動き	・2月以降、来客数が減っている。
乗用車販売店 （販売担当）		販売量の動き	・客の動向を全くつかめない状態だが、新車の購入意欲が減少している。
観光名所（職員）		来客数の動き	・3か月前の1月は正月で例年、来客数が増えている。3月が一番の閑散期なので悪くなっている。
設計事務所（所長）		お客様の様子	・新規物件の動きがまるでなく、情報も入らない。ただし、耐震設計の動きはある。
住宅販売会社 （従業員）		販売量の動き	・契約数が例年の半分以下になっている。

企業 動向 関連  (南関東)	良く なっている	○	○	○
	やや良く なっている	出版・印刷・同 関連産業（経営 者）	受注量や販売量 の動き	・消費税増税前の駆け込み受注については小規模の当 社ではさほど影響がなく、逆に増税後の受注減の影響 の方が大きい。
		出版・印刷・同 関連産業（所 長）	受注量や販売量 の動き	・例年、この時期は年度末対応で繁忙だが、さらに消 費税増税前の駆け込みで案件があふれかえっている。
		出版・印刷・同 関連産業（営業 担当）	受注量や販売量 の動き	・印鑑やゴム印、名刺印刷の仕事をしている。今月は 病院で大きいゴム印の特需があったことと、会社の設 立印の注文が通常、月に7～8本ぐらいのところ、17 本と2倍の注文があった。また、メインの間屋への支 払が通常12～15万円のところ、今月は25万円もあり、 この間屋には材料だけではなくゴム印の発注もしてい るので、注文数が非常に多い。
		金属製品製造業 （経営者）	受注量や販売量 の動き	・消費税増税前の駆け込みと思われる受注が出てき た。
		その他製造業 〔化粧品〕（営 業担当）	受注量や販売量 の動き	・消費税増税前の駆け込み需要が予想以上である。
		建設業（経営 者）	取引先の様子	・職人不足の上に単価が高騰している。
		建設業（経営 者）	受注量や販売量 の動き	・消費税増税もあつてか年度末は忙しい。2月の大雪 もあり、修繕関係が多い。
		建設業（営業担 当）	受注量や販売量 の動き	・雪害の対応が消費税増税による工事と絡み、人材、 資材不足の状態である。納品も4月に延期される物が 多い。
		輸送業（営業担 当）	受注量や販売量 の動き	・スポット需要にやや盛り上がりが見られる。
		金融業（統括）	取引先の様子	・前向きな資金ニーズはあまりないが、取引先のマイ ンドは上がっているようである。
		金融業（役員）	取引先の様子	・消費税増税前の駆け込み需要もあり、広範囲の業種 において売上が増えている。ただし、原価も高騰して おり、忙しい割には利益が少ないとの声を多く聞く。
		税理士	取引先の様子	・春闘のベースアップが刺激になっている。春休み、 ゴールデンウィークの旅行の予約も好調であり、高額 品が売れている。
		経営コンサル タント	取引先の様子	・駅前商店街のかっぱ料理店での話では、先般の降 雪の影響は大きかったが、その後の売上は宴会を中心 に順調に伸びている。ランチメニューは3ランクある が、最上ランクの注文が以前に比べて増えてきてい ることである。
		その他サービ ス業〔ソフト開 発〕（経営者）	競争相手の様子	・仕事があっても作業要員がいない。
		変わらない	食料品製造業 （経営者）	取引先の様子
食料品製造業 （経営者）	受注量や販売量 の動き		・賞味期限の短い食品のため、買いだめや駆け込み需 要もなく、客の財布のひもは固いままである。	
食料品製造業 （営業統括）	受注量や販売量 の動き		・駆け込み需要に期待していたが、来客数、買上点数 共に少ない。	
繊維工業（従 業員）	受注量や販売量 の動き		・組合員の中小企業経営者は、世間でいわれているよ うな景気回復を実感できておらず、大量の注文もなく 相変わらずの細々とした経営に甘んじている。従業員 の賃上げの話もここ10数年来全く聞こえてこない。	
出版・印刷・同 関連産業（経営 者）	受注価格や販売 価格の動き		・今月は官庁関連の年度末の仕事が多く発注されたの で稼働は上がったが、一般からの仕事が思ったほど発 注されず、両手を上げて喜ぶほどではない。	
出版・印刷・同 関連産業（経営 者）	取引先の様子		・原材料や電気料金の上昇分を受注価格にすぐ転嫁す ることができない。3月は消費税増税の駆け込みで急 ぎの仕事が多い。	
プラスチック製 品製造業（経営 者）	受注量や販売量 の動き		・消費税増税前の割には思っていたより駆け込み需要 などが少ない。	
プラスチック製 品製造業（経営 者）	取引先の様子		・駆け込み需要は何とか一息ついたが、各顧客とも新 企画の予算がなかなか決まらず、先がみえない。	
一般機械器具製 造業（経営者）	受注量や販売量 の動き		・現在、7社の取引先があるが、どこも仕事が増える 様子はない。	

一般機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・受注に向けての新しい動きはない。
電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・年度末はこれで終わりという一服感を感じる。売上の水準も例年並みで、良くも悪くもないといった状況である。
電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・当業界では駆け込み需要の数値に一部変動があり、景気が良い方向の受注ではないことがはっきりしているので、この駆け込み需要が終わらないと上昇か下降かははっきりした判断はつかない。
その他製造業〔鞆〕（経営者）	取引先の様子	・消費税増税の関係で、売行きは落ちるだろうという話がかかり出ているが、今現在においては、何ら変わっていない。
建設業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・商品が売れない。
輸送業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・メディア等で報道されているような販売の動き、高額品が売れているといったことは、実際の取引の現場ではまだ起きていない。
輸送業（経営者）	取引先の様子	・我々のような零細企業では、得意先からの仕事が増えること以外ではどこで良くなって、どこで悪いのかは何とも言えないので、ただただ我慢するだけである。
輸送業（経営者）	受注量や販売量の動き	・今月に入っても業況が良好に転ずる気配はなく、依然として取扱量は低迷を続けている。
通信業（広報担当）	受注量や販売量の動き	・消費税増税前の駆け込み需要もあり、前月に引き続き堅調に推移している。
金融業（支店長）	取引先の様子	・消費税増税前の駆け込み需要もあり、自動車、住宅、家電等は販売が好調である。投資家も積極的になっている。
金融業（支店長）	受注量や販売量の動き	・現在の客の様子は建設業、不動産はまだ受注、販売が好調だが、それに引き換え、製造業は売上が止まっているというような状況である。
不動産業（経営者）	取引先の様子	・駅から徒歩6分、38～50平米の新築1LDKタイプ、賃料88,000～98,000円、管理費3,000円、エアコン2機、浴室追い炊きあり、乾燥機付き、システムキッチン3口コンロの大手メーカー物件の8戸が3月入居可だが、まだ2件の申込しかない。駅までバス利用の鉄筋コンクリート造り7階建ての18戸のマンション、賃料66,000～70,000円、管理費3,000円、礼金、敷金各1か月については当社でも1件申込したが、業者が所有し価格も抑えていたようで全室完了した。最近では珍しいことである。
不動産業（従業員）	受注量や販売量の動き	・消費税増税前の駆け込み需要が一巡したのか、個人の戸建ての住宅の注文が停滞、減少してきている。
不動産業（総務担当）	取引先の様子	・完成在庫となっている分譲マンションへの消費税増税前の駆け込み需要を期待していたが、ほとんどなかった。
広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・エンターテインメント関連の宣伝費は変わらず縮小傾向だが、それ以外の一般企業からの相談や受注案件数が増えている。
税理士	それ以外	・最寄駅までいつも10分ほど歩いているが、夜、商店街の飲食店に客が入っていない。中小企業と街にはまだ景気の波が来ていない。
経営コンサルタント	取引先の様子	・先月は大雪の影響もあったため、前月比ではまずまずだが、全体的には厳しい様子である。
経営コンサルタント	取引先の様子	・中小製造業は相変わらず低調な受注状況である。
その他サービス業〔廃棄物処理〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・注文件数や取引件数は確かに増えたが、消費税増税前の駆け込みである。真の回復には至っていない。
その他サービス業〔ビルメンテナンス〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・当社の受託物件は地方のため担当部署が違い影響はなかったが、ある元請先の協力会社の集まりでは、新規の会社も参入した入札があり、大幅な減額があったという話である。今回の入札では、安価で落札した新しい協力会社が増えたようである。
その他サービス業〔映像制作〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・映像業界では消費税増税前の駆け込み需要も特にみられず、例年と同じように推移している。
その他サービス業〔情報サービス〕（従業員）	受注量や販売量の動き	・通信関連の環境整備に関する受注量が、消費税増税前の年度末にもかかわらず伸び悩んでいる。



やや悪くなっている	出版・印刷・同 関連産業（営業 担当）	受注量や販売量 の動き	・12～2月の3か月間、受注件数と売上額が前年同 月の目標に対し6%の未達である。	
	金属製品製造業 （経営者）	取引先の様子	・年度末でいつもより忙しく過ごしたが、納期の短い ものばかりで忙しいものの作業効率が悪く、売上があ まり伸びていない。	
	精密機械器具製 造業（経営者）	受注量や販売量 の動き	・先月より受注が約10%減少している。期末棚卸と消 費税増税の関係で在庫調整が早い。	
	建設業（経理担 当）	それ以外	・地域の小規模企業や協力業者の廃業等で年度末にな り例年以上の挨拶状が届いている。駅前通りもシャッ ター通り化してしまっているため、地元では商業ビル の提案等もできる状況ではない。	
	輸送業（総務担 当）	取引先の様子	・荷主の出荷量は2月下旬より減少し、3月には予定 を下回る数量になった。それに伴い売上も減少し、燃 料価格は下がる気配がなく、やや値上がりしてきて苦 しい状況下にある。	
	輸送業（総務担 当）	受注量や販売量 の動き	・4月以降の消費税増税による不透明感から、取引件 数や物流量は減少傾向である。	
	広告代理店（経 営者）	受注量や販売量 の動き	・例年の受注の処理が済むとばかりと仕事がなくなっ ている。次年度の新規引き合いもほとんどなく、業務 処理も当然少ない。	
	広告代理店（従 業員）	受注価格や販売 価格の動き	・消費税増税のための宣伝等の経費が抑えられてきて いる。	
	社会保険労務士	取引先の様子	・4月からの消費税増税に伴って、契約の見直しをし ているが、3%の上乗せに対してかなり厳しい会社も あるようである。	
	その他サービス 業〔警備〕（経 営者）	それ以外	・消費税増税に伴い、4月の受注が減ってきている。	
悪く なっている	○	○	○	
雇用 関連  (南関東)	良くなっ ている	○	○	○
やや良くなっ ている	人材派遣会社 （営業担当）	求人数の動き	・ここ数か月間、派遣求人数は増加傾向にある。リー マンショック以降、採用抑制を行っていた企業が業 績好調、業務繁忙に伴い、人材派遣を活用するケース が増えてきている。	
	職業安定所（職 員）	求職者数の動き	・求職者数は前年同月比で減少傾向が続いているが、 特に、在職者の転職に向けた動きが活発化しているよ うに感じている。景気が良くなってきており、在職者 が転職をチャンスととらえているのではないかと。	
	職業安定所（職 員）	求人数の動き	・新規求人数は、前年同月比でフルタイム、パートタ イム共に増加に転じている。一方で新規求職者は減少 している。	
	民間職業紹介機 関（経営者）	採用者数の動き	・当社は海外依存度の高い製造業が多いが、幅広い職 種に求人が広がっている。海外の市場をにらんだ海外 生産拠点化が進み、国内外で仕事ができる人材が求め られているが、ふさわしい人材をみつけるのは難しい。	
変わらない	人材派遣会社 （社員）	求人数の動き	・どの業種も特に求人数が増えているものはない。	
	人材派遣会社 （社員）	採用者数の動き	・企業からの求人依頼数は引き続き堅調に推移してい るが、募集に対して応募が少なく、採用に結び付か ない。採用単価は上昇している。	
	人材派遣会社 （社員）	周辺企業の様子	・例年、この時期は一次的に売上が落ち込む傾向にあ るが、今期はその兆候がない。	
	人材派遣会社 （社員）	それ以外	・周囲の給与水準や消費動向に何ら変化はない。	
	人材派遣会社 （支店長）	それ以外	・受注数は前年より2けた以上の伸びだが、登録数が 増えず、数字が思うように伸びてこない。	
	求人情報誌製作 会社（編集者）	採用者数の動き	・新卒採用の追加募集の動きはない。ただし、5月の 内々定以降で、希望どおり人員確保できない企業が 発生し、PRに予算を使う可能性が高い。	
	求人情報誌製作 会社（広報担 当）	採用者数の動き	・景気が良くなっているというが、企業の雇用数が増 えている感じはしない。業績によって人員を増やすほ ど明るい見通しを感じているところは少ないようであ る。	
	新聞社〔求人広 告〕（担当者）	求人数の動き	・今月は廃業が2社、倒産が5社、新規が43社とい うかなりの数字だが、圧倒的に客のニーズがなくなっ ているのが原因で、それほどの上昇はない。	

	職業安定所（職員）	求人数の動き	・当管内の求人数は、建設業のみ増加している。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人数は前年同月比で増加傾向を保っているが、正社員求人数で見ると2月は減少となっている。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・これまでと同様に求人数は増加傾向にあるが、充足数はなかなか上がらず、条件面の改善は感じられない。
	民間職業紹介機関（職員）	採用者数の動き	・採用者数が前期比で伸びている。
	民間職業紹介機関（職員）	求人数の動き	・依然として求人数は高水準にあり、採用意欲も全く衰えていない。
	学校〔専修学校〕（就職担当）	求人数の動き	・新卒対象の求人獲得数は前年同月比で微増であり、大きな変化はない。
やや悪くなっている	—	—	—
悪くなっている	—	—	—